

阿部 秀樹

【論文】

Hideki Abe: Effects of a form-negotiation task in teaching L2 English weak forms: Pedagogical and acoustic analysis, *Proceedings of 17th International Phonetic Congress*, 184-187. (2011).

【学会発表】

Hideki Abe: Cross-sectional study of the production of L2 English weak forms by Japanese learners in a formal setting, *The 17th World Congress of Applied Linguistics*, (2011).

茨木 貴徳

【論文】

Takanori Ibaraki, Wataru Takahashi : Strong convergence theorems for finite generalized nonexpansive mappings in Banach spaces, *Journal of Nonlinear and Convex Analysis*, Vol. 12, No. 3, 407-428, (2011)

【学会発表】

Takanori Ibaraki : Shrinking projection methods for a family of generalized nonexpansive mappings in a Banach space, *The 10th International Conference on Fixed Point Theory and its Applications*, Babeş-Bolyai University, Cluj-Napoca, Romania, July 9-15, (2012).

【学会発表】

Takanori Ibaraki : Shrinking projection methods for common fixed point problems in a Banach space, *The Fourth International Symposium on BANACH and FUNCTION SPACES 2012*, Kyushu Institute of Technology, Kitakyushu, JAPAN, September 12-15, (2012).

【学会発表】

茨木貴徳：縮小射影法と準非拡大写像の共通不動点, RIMS研究集会 "非線形解析学と凸解析学の研究", 京都大学数理解析研究所, 2012年8月29日～31日.

【科学研究費補助金】

茨木貴徳：鶴岡高専総合科学科, 補助金若手研究(B), 「非線形射影の視点からの極大単調作用素の零点問題の研究」, 2100千円, (2012-2015年度)

大河内 邦子

【論文】

大河内邦子, 地方都市で開く「文学カフェ」について, *宗教研究*, 24, 132-136, (2011)

【各種補助金・助成金による研究】

大河内邦子(つるおかルネサンスの会代表), 公益信託荘内銀行ふるさと創造基金, まちなかの映画館で文学カフェをひらく「映画に恋してー田辺聖子と映画ー」, 100千円, (平成23年度)

加田 謙一郎

【論文】

国語教育における論理性・客観性養成のための「まじめさ」の指導:加田 謙一郎, *日本高専学会誌*, 17(3), 29-34, (2012)

【論文】

十年一昔 高専における国語コミュニケーションス

キル教育:野中勉・加田謙一郎, *Electrochemistry*, Vol.80 No.11, 945, (2012)

【論文】

無常と俳諧ー永井荷風の諸作を巡ってー:加田 謙一郎, 鶴岡工業高等専門学校研究紀要, 46, 1-11, (2012)

【学会発表】

高専における教養教育のあり方:山下 哲・加田 謙一郎・久松俊一, *日本高専学会第18回年会講演会*, 73-74, (2012)

上 條 利 夫

【学会発表】

水上雅史, 上條利夫, 栗原和枝, 釣之朗, 星野俊幸:コロイドプローブ原子間力顕微鏡法による水溶液中の鉄-アミン修飾表面間の相互作用力評価, *日本化学会第92年会講演予稿集, DVD-ROM*, (2012年)

【学会発表】

水上雅史, 上條利夫, 栗原和枝, 釣之朗, 星野俊幸:コロイドプローブ原子間力顕微鏡法による水溶液中の鉄表面の評価, *第63回コロイドおよび界面化学討論会, P217*, (2011年)

【国際学会発表】

Toshio Kamijo, Motohiro Kasuya, Masashi Mizukami, Kazue Kurihara : Double Layer Forces at the Potential Controlled Gold Electrodes Studied Using the Electrochemical Surface Forces Apparatus」*International Association of Colloid and Interface Scientists*, May 13-18, Sendai, Miyagi, Japan.(2012)

【成果報告会】

上條利夫, 森永隆志, 佐藤貴哉:研究経過報告I, 東北発 素材技術先導プロジェクト 超低摩擦技術領域 & GRENE事業 グリーントライボ・イノベーション・ネットワーク 連携シンポジウム, (2012年10月)

【成果報告会】

上條利夫, 森永隆志, 佐藤貴哉:研究経過報告II, グリーントライボ・ネットワーク夏の学校2012, (2012年8月)

【受託研究】

上條利夫:鶴岡高専技術振興会助成事業「シリカナノ空間に閉じ込められたイオン液体の特性評価」, (2012年度).

【受託研究】

上條利夫(共同研究者)文部科学省平成23年度大学発グリーンイノベーション創出事業, 先進環境材料分野「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス(GRENE)」事業(分担)(2011-2015年度)

窪 田 眞 治

【論文】

窪田眞治:クライスト『チリの地震』:災害ユートピアと身元混乱の物語, 鶴岡高専研究紀要, 46, 33-40, (2011)

佐 藤 浩

【著書】

佐藤 浩, 阿蘇和寿, 池永彰吾, 梅野善雄, 古城克也, 斉藤四郎, 杉山琢也, 角 秀吉, 田端敬昌, 徳一保生, 中里肇, 三木晴夫, 深山 徹: 新編 高専の数学1 [第2版・新装版], 森北出版(2012)

【著書】

佐藤 浩, 阿蘇和寿, 池永彰吾, 梅野善雄, 古城克也, 斉藤四郎, 杉山琢也, 角 秀吉, 田端敬昌, 徳一保生, 中里肇, 三木晴夫, 深山 徹: 新編 高専の数学2 [第2版・新装版] (2011)

【著書】

佐藤 浩, 阿蘇和寿, 池永彰吾, 梅野善雄, 古城克也, 斉藤四郎, 杉山琢也, 角 秀吉, 田端敬昌, 徳一保生, 中里肇, 三木晴夫, 深山 徹: 新編 高専の数学3 [第2版・新装版] (2012)

【著書】

佐藤 浩, 阿蘇和寿, 池永彰吾, 梅野善雄, 古城克也, 斉藤四郎, 杉山琢也, 角 秀吉, 高山 礎, 田端敬昌, 徳一保生, 中里肇, 三木晴夫, 深山 徹: 新編高専の数学1 問題集 (第2版) (2012)

【著書】

佐藤 浩, 阿蘇和寿, 池永彰吾, 梅野善雄, 古城克也, 斉藤四郎, 杉山琢也, 角 秀吉, 高山 礎, 田端敬昌, 徳一保生, 中里肇, 三木晴夫, 深山 徹: 新編高専の数学2 問題集 (第2版) (2011)

【著書】

佐藤 浩, 阿蘇和寿, 池永彰吾, 梅野善雄, 古城克也, 斉藤四郎, 杉山琢也, 角 秀吉, 高山 礎, 田端敬昌, 徳一保生, 中里肇, 三木晴夫, 深山 徹: 新編高専の数学3 問題集 (第2版) (2012)

澤 祥

【著書】

澤 祥, 石山達也, 今泉俊文, 岡田篤正, 熊原康博, 中田 高: 1:25,000都市圏活断層図「米沢」, 国土交通省技術資料: D・1-No.580, (2011)

【著書】

八木浩司, 今泉俊文, 澤 祥, 堤 浩之, 岡田篤正, 中田 高: 1:25,000都市圏活断層図「左沢」, 国土交通省技術資料: D・1-No.580, (2011)

【著書】

八木浩司, 澤 祥, 熊原康弘: 1:25,000 都市圏活断層図長井盆地西縁断層帯とその周辺「左沢」「長井」「米沢」解説書. 国土地理院技術資料D1-No.580, 19p, (2011)

【論文】

谷口薫, 渡辺満久, 鈴木康弘, 澤 祥: 糸魚川-静岡構造線活断層系中北部で新たに得られた活動時期. 地震第2輯, 64, 11~21, (2011)

【論文】

谷口薫, 杉戸信彦, 廣内大助, 澤 祥, 渡辺満久, 鈴木康弘: 糸魚川-静岡構造線活断層系中部, 茅野断層(茅野市坂室)の変動地形の再検討. 活断層研究, 37, 17~28, (2012)

【学会発表】

澤 祥, 渡辺満久, 鈴木康弘: 横手盆地東縁断層帯南部・横手市西方に新たに認定された活断層-群列ボーリングにより確認される変位の累積-. 日本地球惑星科学連合2011年大会, HDS029-04, (2011)

【学会発表】

渡辺満久, 中田高, 鈴木康弘, 後藤秀昭, 堤浩之, 谷口薫, 澤 祥: 横手盆地の変動地形と活構造. 日本地球惑星科学連合2011年大会, HDS029-03, (2011)

【報告書】

鈴木康弘・杉戸信彦・堤 浩之・後藤秀昭・廣内大助・熊原康博・松多信尚・澤 祥・渡辺満久・中田 高: 活断層の地表形状・ずれ量データにもとづく地震発生予測. 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画平成23年度年次報告, 課題番号: 1704, (2012)

主 濱 祐 二

【論文】

Haraguchi, Tomoko and Yuji Shuhama: On the Cartography of Modality in Japanese, Online Proceedings of GLOW in Asia Workshop for Young Scholars 2011, 102-110, (2012)

【論文】

主濱祐二: 読解教材を活用した英語表現力向上のための指導法研究—視覚情報に着目させて—, 東北英語教育学会研究紀要, 32, 95-104, (2012)

【学会発表】

Shuhama, Yuji: Modal Types and Applicability of Syntactic Operations, the 5th Conference on Syntax, Phonology and Language Analysis, Wien, Austria, (2012)

田 阪 文 規

【論文】

Fuminori Tasaka: A characterization of the Glauberman-Watanabe corresponding blocks as bimodules, Mathematical Journal Okayama University, acceptance

【論文】

Fuminori Tasaka: A remark on the Cartan Matrix with a Prime Action, Research Reports of Tsuruoka National College of Technology 46, 19-22, (2012)

【学会発表】

田阪文規: The Glauberman-Watanabe corresponding blocks of finite groups as bimodules, 日本数学会2012年度年会, (2012/3/26)

田 辺 英 一 郎

【論文】

田辺英一郎: テリック動詞に結果持続の意味が成立する条件, 鶴岡工業高等専門学校研究紀要, 第46号, 23-32, (2011)

【論文】

田辺英一郎: 測定動詞とテリシティー, 英語学論説資料, 44, 第1分冊, 586-589, (2012)(鶴岡工業高等専門学校研究紀要, 第43号, 11-17, (2008)の採録)

【論文】

田辺英一郎: 達成動詞の意味特徴, 英語学論説資料, 44,

第1分冊, 590-593, (2012)(鶴岡工業高等専門学校研究紀要, 第44号, 27-33, (2009)の採録)

比留間 浩 介

【論 文】

比留間浩介, 尾縣貢: 個人の特性に応じた体力トレーニングが投手の投球スピードに及ぼす影響, 日本コーチング学会第22回大会特別論文集, 58-59, (2011)

【学会発表】

三村泰成, 比留間浩介: バレーボールにおけるアンダーハンドパス時の衝撃中心についての一検討, 第22回日本バイオメカニクス学会大会論集, p.31, (2012) 2012年9月11日 共同発表者

五十嵐 幸 徳

【学会発表】

伊藤猛晋, 五十嵐幸徳: 置換型新四元系16H型シリサイドの形成, 日本機械学会東北学生会第43回卒業研究発表講演会講演論文集, 53-54, (2013)

小野寺 良 二

【論 文】

宍戸道明, 小野寺良二: 離島での家電修理ボランティアを通じた実践的技術者育成と地域貢献, 論文集「高専教育」, 第35号, Pp269~274, (2012)

【学会発表】

長沼秀昌, 小野寺良二: 自走型車椅子の操作力の実験的検証, 東北学生会第42回学生員卒業研究発表講演会, Pp184-185, (2012)

【学会発表】

半澤端弥, 小野寺良二: リクライニング機能を有する育児支援椅子の検討, 東北学生会第42回学生員卒業研究発表講演会, Pp196-197, (2012)

【学会発表】

小屋重誠, 小野寺良二: ポテンシャル法を用いた簡易回避アルゴリズムの検討, 東北学生会第42回学生員卒業研究発表講演会, Pp202-203, (2012)

【学外発表】

小野寺良二: 育児支援椅子の開発, 2012春 ビジネスマッチ東北, (2012)

【学外発表】

宍戸道明, 小野寺良二, 阿部貴徳, 大瀧恵理: 離島における家電修理ボランティア活動, 2012やまがた公益大賞公開プレゼンテーション, (2012)

【研究報告】

小野寺良二: 障がい児育児用支援機器の開発, 鶴岡高専技術振興会助成研究報告, (2012)

【各種補助金・助成金による研究】

小野寺良二: 平成23年度 東北6高専・モノ造型教育研究コンペティション, 障がい児育児用支援機器の製作, 750千円, (23年度)

【各種補助金・助成金による研究】

小野寺良二: 平成24年度飛島ボランティア活動支援補助金, 飛島における家電修理ボランティア, 77千円, (24年度)

【各種補助金・助成金による研究】

小野寺良二: 平成24年度 東北6高専・モノ造型教育研究コンペティション, 障がい児育児用支援機器の製作, 100千円, (24年度)

【受託研究】

小野寺良二: 鶴岡高専技術振興会助成事業, 障がい児育児用支援機器の開発, 500千円, (23年度)

【受託研究】

小野寺良二: 鶴岡高専技術振興会助成事業, 障がい児育児支援機器「抱っこ器」の開発, 500千円, (24年度)

今 野 健 一

【学会発表】

Ken-ichi Konno, Tadashi Kosawada, Yasushi Kaneyama, Hiroya Endo, Zhonggang Feng: Non-invasive Stiffness Detection Method for Living Cell Nucleus by Using Piezoelectric Micro Sensor, Proceedings of the World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering, Beijing, China, 4pp., (2012)

【学会発表】

Ken-ichi Konno, Tadashi Kosawada, Toru Ichita, Zhonggang Feng, Yasukazu Hozumi, Kaoru Goto: Novel Three-dimensional Micro Vibration Stage and Its Ability to Influence in Cellular Senescence, Proceedings of the World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering in Beijing, China, 4pp., (2012)

【学会発表】

遠藤洋也, 金山寧, 今野健一, 馮忠剛, 小沢田正: ヒト骨芽細胞核の形状および力学特性評価法の開発, 日本機械学会Dynamics and Design Conference 2012, USB論文集, No.429, 9pp. (2012)

【学会発表】

小泉智幸, 会田和広, 今野健一, 馮忠剛, 小沢田正: マウスiPS細胞の分化過程における力学刺激の影響評価, 日本機械学会Dynamics and Design Conference 2012, USB論文集, No.431, 9pp. (2012)

【学会発表】

後藤敬成, 今野健一, 小沢田正, 馮忠剛, 八月朔日泰和, 後藤薫: 超小型3次元振動ステージの細胞培養への応用, 日本機械学会東北支部第48期秋季講演会, No.2012-2, pp.56-57. (2012)

佐々木 裕 之

【学会発表】

佐々木裕之, 増山知也, 高橋隆行: ロータの運動創成によるクラウン減速機の歯形の生成, 第30回日本ロボット学会学術講演会, 講演論文集201-2, (2012)

【学会発表】

伊藤広平, 佐々木裕之, 増山知也, 高橋隆行: クラウン減速機と6個の直動アクチュエータを用いたモータの開発, 東北学生会第42回学生員卒業研究発表講演会, 講演論文集, pp238-239, (2012)

【学会発表】

秋山大樹, 佐々木裕之, 増山知也, 高橋隆行: $\phi 100$ クラウン減速機の効率の計測システムの開発, 東北学生会

第42回学生員卒業研究発表講演会，講演論文集，pp246-247，(2012)

【特許（取得）】

高橋隆行，佐々木裕之，安沢孝太，藤森優太，高崎進，秦豪一，伏見雅英：クラウンギヤ減速機構（特許第5054853）2012.8.3登録

【国際特許（取得）】

高橋隆行，佐々木裕之，増山知也：変形クラウンギヤ減速機構(PCT/JP/2009/66036)，欧州（EP09815417.2）

【国際特許（取得）】

高橋隆行，佐々木裕之，増山知也：変形クラウンギヤ減速機構(PCT/JP/2009/66036)，米国（US12/674,942）

【国際特許（取得）】

高橋隆行，佐々木裕之，増山知也：変形クラウンギヤ減速機構(PCT/JP/2009/66036)，カナダ（CA2,696,888）

【国際展示会】

"Zero-Backlash, Small Size, Power Precise Actuator", MEDICA 2011(デュッセルドルフ市、ドイツ), Hall 16, C-40 (2011)

【展示会】

産学官連携市推進会議(第11回):イノベーションジャパン2012, ゼロバックラッシュ・小型・高出力アクチュエータ,ブースW-7,(2012)

【各種補助金・助成金による研究】

佐々木裕之(共同研究員):地域イノベーションクラスター戦略支援プログラム(グローバル型)サブテーマ名:「医療用Visible-Tangible技術の開発と高度診断・治療装置への応用展開」40,230千円(2012年度)

【各種補助金・助成金による研究】

佐々木裕之(共同研究員):JST. 大学発新産業創出拠点プロジェクト(プロジェクト支援型)サブテーマ名:「モータ内蔵型ミリサイズ・バックラッシュレス関節アクチュエータの事業化」18,000千円(2012年度)

竹村 学

【学会発表】

竹村学，五十嵐弘一，進藤光貴，仲野嵩史：時間割編成支援システムの開発，計測自動制御学会東北支部第271回研究集会，271-7，(2012)

本橋 元

【著書】

編著者：黒田昌裕，大歳恒彦，著者：山越啓一郎，山本裕樹，小林丈一，齋藤拓，丹省一，本橋元，小沢互，野崎大喬，金子舞，藤科智海，野堀嘉裕，瀧誠志郎，白迎玖：「脱温暖化 地域からの挑戦 山形・庄内の試み」(第4章を共同執筆)，慶應義塾大学出版会(2012.4)

【学会発表】

本橋元，原拓海，岡田拓己，丹省一：斜面上のサボニウス型風車の出力に関する一考察，第33回風力エネルギー利用シンポジウム予稿集，pp.284-287(2011.11)

【学会発表】

阿部健太，本橋元，丹省一，佐藤大輔，武田啓之，畑田一志，稲垣守人，伊藤健：寺川用水路におけるマイク

ロ水力発電装置の実証試験，第17回庄内・社会基盤技術フォーラム講演概要集，pp. 49-52(2012.1)

【学会発表】

阿部健太，本橋元：オープンクロスフロー型マイクロ水車における導水路形状の影響，日本機械学会東北学生会第42回卒業研究発表講演会講演論文集，pp.122-123(2012.3)

【学会発表】

原拓海，本橋元：斜面上のサボニウス型風車に作用する力の測定，日本機械学会東北学生会第42回卒業研究発表講演会講演論文集，pp.130-131(2012.3)

【学会発表】

峯田寮，本橋元：リボン型風車の出力特性，日本機械学会東北学生会第42回卒業研究発表講演会講演論文集，pp.132-133(2012.3)

【学会発表】

鈴木駿，本橋元：可搬型水力発電装置の検討，日本機械学会東北学生会第42回卒業研究発表講演会講演論文集，pp.142-143，(2012.3)

【学会発表】

瀬尾優也，本橋元：遠隔操作用土壌攪拌機の試作，第34回風力エネルギー利用シンポジウム予稿集，pp.292-295(2012.11)

増山 知也

【受託研究】

増山知也：鶴岡工業高等専門学校技術振興会学術研究の充実発展に対する助成，「損傷力学による予寿命予測に基づく高強度歯形の提案」，(2012年度)

江口 宇三郎

【論文】

江口宇三郎：木質廃材の金属炭化物への利用，鶴岡工業高等専門学校地域共同テクノセンターレポート第12号，20，(2011)

【学会発表】

佐藤貴之，江口宇三郎：カーボンナノバルーンの電磁波吸収特性に関する研究，豊橋技術科学大学平成23年度分高専連携教育研究プロジェクト学生成果報告会，2-12，(2012)

【受託研究】

江口宇三郎：鶴岡工業高等専門学校技術振興会「地域企業と教育機関が参加するテクノセンター研究活動への支援事業」，「木質廃材の金属炭化物への利用」，250千円，(2011年度)

【共同研究】

江口宇三郎：豊橋技術科学大学，「グラフェンを用いた電子デバイス開発における基礎的検討」，150千円，(2011年度)

【共同研究】

江口宇三郎：豊橋技術科学大学，「グラフェンを用いた電子デバイス開発における基礎的検討」，110千円，(2012年度)

神田 和也

【学会発表】

水口智貴, 神田和也: 発電用ハイブリッドコントローの
検証計測自動制御学会・東北支部・第267回研究集会,
1-6(2011)

【学会発表】

Ryosuke SUGANO, Kazuya KANDA, Tadashi ISHII,
Takaharu KAMEOKA: Development of compact
Agri-server, ISTS2011 Proceeding, 233-236, (2012)

【受託研究】

神田和也: 鶴岡工業高等専門学校技術振興会地域企業
と教育機関が参加する高専テクノセンター研究活動へ
の支援, 「フィールドモニタリングシステムによる農業
ICT利活用の推進」250[千円](2011年度)

【受託事業】

神田和也: JSTサイエンスパートナーシッププロジェ
クト「動く「虫型ロボット」づくり」500[千円](2012
年度)

【各種補助金・助成金による研究】

神田和也, 佐藤貴哉, 本橋元, 三村泰成, 内海哲史:
文部科学省「大学等における地域復興のためのセンター
の機能整備事業」10, 890[千円](2011-2015年度)

【共同研究】

神田和也: 触覚提示装置開発のため鶴岡高専・長岡
技大教育研究共同プログラム 250[千円](2012)

【共同研究】

神田和也: 慶應義塾大学生命先端研究所政策・メデ
ィア研究科「オイル産生微細藻類展示用メディアア
ート型水槽の開発」(2012年2月-2013年3月)

【共同研究】

神田和也: 株式会社スパイバー「実験室環境モニタ
リングシステムの構築」(2012年2月-2013年3月)

佐藤 秀 昭

【論 文】

佐藤秀昭: LEDの混色による白色光の演色性, 鶴岡高
専研究紀要, 39, p.81-85, (2004)

【学会発表】

佐藤秀昭: LEDの加法混色による白色光照明下での色
彩弁別能力測定, 日本産業技術教育学会第49回全国大会
講演文集, p.47(2006)

【学会発表】

佐藤秀昭: LEDの加法混色による白色光照明下での色
彩弁別能力～視感度特性を考慮した考察～, 日本産業
技術教育学会第50回全国大会講演文集, p.146(2007)

【学会発表】

佐藤秀昭: カラーコンフォートメータを用いた白色光
の評価, 日本産業技術教育学会第51回全国大会講演文
集, p.88(2008)

【学会発表】

佐藤秀昭: LEDの加法混色による白色光の快適性と色
温度, 日本産業技術教育学会第52回全国大会講演文集,
p.89(2009)

【学会発表】

佐藤秀昭: 明るさに「ゆらぎ」を持つLED照明, 日本
産業技術教育学会第53回全国大会講演文集, p.26(2010)

【学会発表】

佐藤秀昭: 有機ELおよびLEDを用いたコマツナの栽
培, 日本産業技術教育学会第54回全国大会講演文集,
p.130(2011)

【学会発表】

佐藤秀昭: LEDの加法混色による白色光の演色性と快
適度, 日本産業技術教育学会第55回全国大会講演文集,
p.29(2012)

武 市 義 弘

【論 文】

武市義弘, 佐藤淳: ICT教育におけるe-Learningシス
テムの効果的な利用方法, 論文集「高専教育」, 31,
307-312, (2008)

【教育・指導ノート】

佐藤淳, 武市義弘: LEGO Mindstorms ROBOLABを
用いたコンピュータ教育事例, 鶴岡高専紀要, 38,
57-61, (2003)

【教育・指導ノート】

武市義弘, 佐藤淳: e-Learning教材を用いたIT教育
事例, 鶴岡高専紀要, 39, 111-114, (2004)

【教育・指導ノート】

武市義弘, 佐藤淳: e-Learning教材の活用方法と導
入効果について, 鶴岡高専紀要, 40, 61-63, (2005)

【学会発表】

武市義弘, 佐藤淳: 電気工学科におけるネットワー
ク教育, 第10回高専シンポジウム, (2004)

【学会発表】

齊藤雄喜, 武市義弘, 佐藤淳: Playstation 3を用い
たLinux学習環境の構築とその応用, 第12回高専シン
ポジウム, (2007)

【学会発表】

万年達也, 武市義弘, 佐藤淳: LabVIEWを用いた
センサ信号処理システムの構築, 第14回高専シンポジ
ウム(高知), (2009)

【学会発表】

万年達也, 武市義弘: 独立成分分析を用いた非侵入
型モニタリングシステムの検討, 第15回高専シンポジ
ウム(いわき), (2010)

【学会発表】

小林瑛典, 武市義弘: 独立成分分析を用いた機器動
作監視システムにおける混信の検証, 第16回高専シン
ポジウム(米子), (2011)

【学会発表】

小林瑛典, 武市義弘: ICAを用いた通信分野におけ
る信号分離の検証, 第17回高専シンポジウム(熊本),
(2012)

【学会発表】

中村 弦, 武市義弘: 画像認識技術による個人証シ
ステムの構築, 第17回高専シンポジウム(熊本), (2012)

【学会発表】

宮崎貴大, 武市義弘: ICAを用いた肺音・心音の分
離検証, 第17回高専シンポジウム(熊本), (2012)

【学会発表】

宮崎貴大, 武市義弘: ICAを用いた心音と呼吸音の

分離検証, 第18回高専シンポジウム(仙台), (2013)

【学会発表】

結城亮平, 武市義弘: ICAを用いた雑音分離の検証, 第18回高専シンポジウム(仙台), (2013)

宝 賀 剛

【学会発表】

小野寺洋介, 宝賀剛: スプレー熱分解法による酸化亜鉛薄膜の作製と評価, 第17回高専シンポジウムin熊本講演要旨集, p.87, (2012)

保 科 紳一郎

【査読付き国際会議論文(共著)】

K. Katoh, K. Itagaki, and S. Hoshina, "A Reduction Technique of Volume of Input Sequence for Time-Multiplexed Delay Measurement Using Embedded Delay Measurement Circuit," Proc. IEEE Workshop on RTL and High Level Testing, pp.4.3.1-4.3.7, 2012.

【査読付き国際会議論文(共著)】

K. Katoh, K. Itagaki, and S. Hoshina, "Time-Multiplexed On-Chip Delay Measurement for Dependable High-Speed Digital LSIs," Proc. IEEE Global Conference on Consumer Electronics, pp.737-738, 2012.

【学会発表】

須貝柳太, 保科紳一郎: 板状誘電体材料の誘電特性評価, 第17回高専シンポジウムin熊本講演要旨集, SB02, p.82, (2012)

【学会発表】

佐藤翔, 保科紳一郎: 誘電特性計測システムの開発～試作システムの性能評価～, 第16回高専シンポジウムin米子講演要旨集, B-08, p.48, (2011)

【学会発表】

佐藤千宏, 保科紳一郎: FDTD法を用いた小型平面アンテナの解析, 第15回高専シンポジウムinいわき講演要旨集, E-11, p.155, (2010)

【学会発表】

武田大樹, 保科紳一郎: 二次元人体モデルの電磁界解析, 第15回高専シンポジウムinいわき講演要旨集, E-12, p.156, (2010)

【学会発表】

池田孝明, 保科紳一郎: 電磁波吸収による温度分布変化の解析, 第13回高専シンポジウムin久留米講演要旨集, G-12, p.174, (2008)

【学会発表】

岡部雅史, 保科紳一郎: FD-TD法を用いた電磁界解析～カテーテル先端部の電極近傍の電磁界解析～, 第11回高専シンポジウム(長岡)講演要旨集, E-18, p.206, (2006)

【学会発表】

松田大典, 保科紳一郎: 車載機器に侵入するノイズの解析, 第11回高専シンポジウム(長岡)講演要旨集, E-25, p.213, (2006)

【学会発表】

恩田雄貴, 保科紳一郎: 車載機器に侵入するノイズ

の解析, 第10回高専シンポジウム講演要旨集, 4-11, p.79, (2005)

森 谷 克 彦

【論文】

Kunihiko Tanaka, Masato Kurokawa, Katsuhiko Moriya, Hisao Uchiki: 「Surface Morphology Improvement of Three-dimensional Solar Cell with Cu₂ZnSnS₄ Absorber」, Journal of Alloys and Compounds, accept for publication.

【論文】

Masato Kurokawa, Kunihiko Tanaka, Katsuhiko Moriya, Hisao Uchiki: 「Fabrication of Three-Dimensional-Structure solar cell with Cu₂ZnSnS₄」, Jpn. J. Appl. Phys, **51**, 10NC33, 2012.

【学会発表】

Masato Kurokawa, Kunihiko Tanaka, Katsuhiko Moriya, Hisao Uchiki: "Fabrication of 3D structure solar cell with Cu₂ZnSnS₄", 21st Photovoltaic Science and Engineering Conference (PVSEC21), 4D-3P-23, 1 Dec. 2011.

【学会発表】

菅原脩平, 森谷克彦: 「硫化フリー・非真空プロセスによるCu₂SnS₃薄膜の作製」, 第21回電気学会東京支部新潟支所研究発表会予稿集, P-2, 80, 2011

【各種補助金・助成金による研究】

森谷克彦: 東北6高専モノ造り型教育コンペティション「温度差発電による排熱の有効利用に関する研究」, (2012-2013年度)

吉 木 宏 之

【論文】

吉木宏之: パルスマイクロ放電を用いたプラスチック製マイクロ流路チップ内壁処理, J. Vac. Soc. Jpn. (真空), **55**(3) pp. 121-124, (2012)

【国際会議発表】

H. Yoshiki, K. Okuda and K. Sato: Plasma-Microbubble Generator for Water Purification, 4th International Conference on Plasma Medicine (icpm4, Orleans, France, June 18, 2012), Abstracts P129, (2012)

【国際会議発表】

H. Yoshiki and S. Ishikawa: Decolorization of Indigo Carmine Solution Using Plasma-Microbubbles, The 5th International Conference on Plasma-Nanotechnology & Science (IC-PLANTS, Aichi, Japan, Mar. 9, 2012), Abstract P14, (2012)

【学会発表】

吉木宏之, 奥田航紀, 佐藤一誠, 石川修一, 矢作友弘, 瀬川透: プラズマ・マイクロバブルを用いたインジゴカルミン水溶液の脱色, 第59回応用物理学関係連合講演会(早稲田大学) 16p-A7-21, 予稿集 DVD 08-069, (2012)

【学会発表】

吉木宏之: パルスマイクロ放電を用いたプラスチック製マイクロ流路チップ内壁処理, 第52回真空に関する連合講演会(学習院大学) 予稿集 18Bp-6, (2011)

【特許出願】

吉木宏之, 石川修一: 液体処理装置, 特願2011-097825

(2011年 4月), 特許第5099612号 (2012年10月)

【受託研究】

吉木宏之: 科学技術振興機構 (J S T) 復興促進プログラム (A-STEP) 『簡易型汚水処理を可能にするプラズマ・マイクロバブル発生装置の開発』, 研究金額 1,544千円

【科学研究費補助金】

吉木宏之: 学術研究助成基金助成金 (基盤研究(C), 課題番号: 23540582), 研究題目 『大気圧 μ プラズマとマイクロバブル技術の融合による新規液中プロセスの開発』, 平成24年度 1,430 千円, (2011-2013年度)

内 海 哲 史

【論 文】

Satoshi Utsumi, and Salahuddin Muhammad Salim Zabir, "Timestamp Retransmission Algorithm for TCP-Cherry over InterPlaNetary Internet", Network and Communication Technologies (NCT), vol. 1, no. 2, November 2012.

【論 文】

Satoshi Utsumi, and Salahuddin Muhammad Salim Zabir, "Utilization-based Congestion Control", International Journal of Computer Networks & Communications (IJCNC), vol.4, no. 5, Sept. 2012.

【学術講演】

Satoshi Utsumi, "Congestion Controls for Wireless Networks and Wireless Sensor Networks", 2012年度第一回通研共同プロジェクト研究会, 東北大学, 2012年6月.

【学会発表】

Satoshi Utsumi, "Mark-Reverse Explicit Congestion Notification: Concept, Analysis and Evaluation", 電子情報通信学会IN/NS/CS研究会, 東北大学, 2012年9月.

【学会発表】

Satoshi Utsumi, "Wireless Friendly Congestion Control: Concept and Evaluation", 電子情報通信学会IN/NS/CS研究会, 東北大学, 2012年9月.

【学会発表】

内海哲史, "Green-PEPPERS: グリーン指向P2P災害時安否確認システムの提案", 電子情報通信学会IN/NS/CS研究会, 東北大学, 2012年9月.

佐 藤 義 重

【論 文】

佐藤義重: 非線形メカトロサーボ系におけるロバストなファジィ・ニューラルネットワークベース制御 (第1報, シミュレーションおよび実験による検証) 2003年11月, 日本機械学会論文集, Vol. 69C, No. 687, pp 2929-2936. (2003)

【論 文】

佐藤義重: 非線形メカトロサーボ系におけるロバストなファジィ・ニューラルネットワークベース制御 (第2報, システムの安定性およびロバスト性の検討) 2004年12月, 日本機械学会論文集, Vol. 70C, No. 700, pp 3440-3447. (2004)

【論 文】

佐藤義重: ファジィ・ニューラルネットワークを用いたロバストゲインスケジューリング制御系の一設計, 電気学会論文誌C, Vol. 127, No. 8, pp 1221-1227 (2007)

【論 文】

y.sato, Design of Fuzzy Neural Network-Based Robust Gain Scheduling Controllers, Electrical Engineering in Japan, Vol.196, No.4, PP21-28. (2009) Wiley Periodicals, Inc.

【国内学会発表】

佐藤義重, 川崎晴久: 非線形メカトロサーボ系におけるロバストファジィ・ニューラルネットワークベース制御, 日本機械学会東海支部岐阜地区講演会講演論文集, No.013-2 (2001)

【国際学会発表】

y.sato and H.KAWASAKI, Robust Fuzzy Neural Network Based Control for Mechatronic Servo Systems with High Nonlinearity, SICE 2001 in Nagoya, The 40th SICE Annual Conference, CD-ROM. (2001)

【国際学会発表】

y.sato, A design of Fuzzy Neural Network Based Robust Gain Scheduling Controllers, CCCT2006 Conference, CD-ROM. (2006)

【国際学会発表】

y.sato, Fuzzy Neural Network Based Intelligent Robust Control Systems, ISSS2007 Conference, CD-ROM. (2007)

【国際学会発表】

y.sato, A design of Multi-Variables Robust Fuzzy PID Control Systems, CCCT2008 Conference, CD-ROM. (2008)

【国際学会発表】

y.sato, Design of Fuzzy Neural Network Based Multi-Variables Controller for Manipulators, ISSS2009 Conference, CD-ROM. (2009)

【国際学会発表】

y.sato, Study of intelligent control of robot equipped with C-MOS camera by new type. Image Processing, ISSS 2010 conference, CD-ROM. (2010)

【国際学会発表】

y.sato, Study on an Autonomous Intelligent Control System for an ARM Robot with Speech Recognition Synthesis That does not Require Teaching, ISSS 2011 conference, CD-ROM. (2011)

【国際学会発表】

y.sato, Study of Fuzzy-Neural Network Based Intelligent Robust Control Systems, FSKD 2011 conference, CD-ROM. (2011)

【国際学会発表】

y.sato, Development of an Intelligent Controller Embedded Intelligent Robust Design using Fuzzy Neural Network-Based Control, ISSS2012 Conference. (2012)

【国際学会発表】

Ryota koga, y.sato, Study of Adaptive Force Control that Takes into Account Object Characteristics Using a Fuzzy

Neural Network, ISTS 2012 Conference. (2012)

【特許出願】

佐藤義重：特開2013-3845，組み込み知能コントローラ，制御システム，制御プログラム，記録媒体，及び制御方法(インテリジェント・ロバスト制御)，(2013年)

【特許出願】

佐藤義重：特願2012-139675，組み込み知能コントローラ，制御システム，制御プログラム，記録媒体，及び制御方法(インテリジェント・インピーダンス制御)，(2012年)

【特許出願】

佐藤義重：特願2011-134305，組み込み知能コントローラ，制御システム，制御プログラム，記録媒体，及び制御方法(インテリジェント・ロバスト制御)，(2011年)

宍戸道明

【論文】

宍戸道明，小野寺良二：離島での家電修理ボランティアを通じた実践的技術者育成と地域貢献，論文集「高専教育」第35号，pp.269-274 (2012)

【論文】

高橋克彦，佐藤 司，宍戸道明，金網秀典，宮崎 正，岡田信司，竹中克彦：油脂熱分解法による BDF の製造と評価，第 23 回廃棄物資源循環学会 講演論文集 (CD-ROM)，pp.399-400 (2012)

【学会発表】

遠藤海，宍戸道明，渡部誠二：海水雰囲気下における 粉殻焼成材の摩擦摺動特性，平成 23 年度北陸地区学生による研究発表会講演論文集，p.75 (2012 年 3 月 石川)

【学会発表】

遠藤亘，宍戸道明，渡部誠二：BCI 研究への応用を目的とした簡易脳波計の開発，平成 23 年度北陸地区学生による研究発表会講演論文集，p.29 (2012 年 3 月 石川)

【学会発表】

後藤萌，宍戸道明，渡部誠二：生体信号を指標としたストレス応答の定量的計測と評価，平成 23 年度北陸地区学生による研究発表会講演論文集，p.28 (2012 年 3 月 石川)

【学会発表】

高橋翔太，平田匠，佐藤司，宍戸道明：漂着漁網と粉殻を原料とした複合材料の製造と力学的性質，第 17 回高専シンポジウム in 熊本講演要旨集，p.194 (2012 年 熊本)

【学会発表】

宍戸道明，遠藤海，遠藤亘，佐藤司，高橋武志，飯塚博：粉殻焼成多孔質炭素材料の耐海水特性，第 21 回日本 MRS 学術シンポジウム，(2011 年 12 月 横浜)

【学会発表】

宍戸道明，工藤未輝，遠藤亘，佐藤司，秋山裕幸，高橋武志，飯塚博：粉殻採取地による粉殻焼成多孔質炭素材料への影響，第 21 回日本 MRS 学術シンポジウム，(2011 年 12 月 横浜)

【解説記事】

宍戸道明，佐藤司，飯塚博：農業系バイオプロダクトを活用した多孔質炭素材料の創成とその応用，環境技術，40 巻，11 号，pp.650-653 (2011)

【講演発表】

宍戸道明：離島での家電修理ボランティアを通じた実践的技術者育成と地域貢献，平成 24 年度東北地区学生指導研修会 (2012)

【各種補助金・助成金による研究】

宍戸道明：東北 6 高専・モノ造型教育研究コンペティション，フィールドプラクティス (有機的・地域連携型教育) の研究，100 千円 (2011 年度)

【受託研究】

小野寺良二，福田恵美子，宍戸道明：鶴岡高専技術振興会助成事業，「障がい児養育支援機器「抱っこ器」の開発」，500 千円 (2012 年 6 月)

西山勝彦

【論文】

K. Nishiyama, : Behavior of peptides combining 1 alanine residue and 8 glycine residues on papain associated with structural fluctuations, J. Appl. Phys., 110, 114701-1~114701-5, (2011)

【論文】

K. Nishiyama, : Binding stability of peptides derived from 1 ALA residue and 7 GLY residues to sites near active center of fluctuating papain, Chem. Phys. Lett., 536, 136~139, (2012)

宮崎孝雄

【学会発表】

白幡貴一，宮崎孝雄：偏光微分干渉計の基礎特性，日本機械学会 第42回学生員卒業研究発表講演会講演論文集，p214-215, Mar. 6 (2012), 福島高専

渡部誠二

【論文】

Shuichi SAKAMOTO, Yuki TAKAUCHI, Kensaku YANAGIMOTO and Seiji WATANABE : Study for Sound Absorbing Materials of Biomass Tubule etc (Measured Result for Rice Straw, Rice Husks, and Buckwheat Husks), Journal of Environment and Engineering, Vol.6, No.2, pp.352 - 364

【論文】

Kensaku YANAGIMOTO, Seiji WATANABE Masayuki TAKAHASHI, Shuichi SAKAMOTO : Sound Quality for Micro Axial Fan with Blade Run-Out Journal of Environment and Engineering, Vol.7, No.1

【学会発表】

秋山彩果, 渡部誠二: パーティクルフィルタによる移動体情報の取得の検討, 東北地区若手研究者研究発表会「音・光・電波・エネルギー・システムとその応用」, pp. pp.147-148, (2012)

【学会発表】

御船雄太, 渡部誠二, 柳本憲作: 音響FDTD法による数値シミュレーション及び音の可視化, 電気関係学会平成23年度北陸地区学生による研究発表会講演論文集, G11, (2012)

【学会発表】

後藤萌, 宍戸道明, 渡部誠二: 生体信号を指標としたストレス応答の定量的計測と評価, 電気関係学会平成23年度北陸地区学生による研究発表会講演論文集, B15, (2012)

【学会発表】

遠藤亘, 宍戸道明, 渡部誠二: BCI研究への応用を目的とした簡易脳波計の開発, 電気関係学会平成23年度北陸地区学生による研究発表会講演論文集, B21, (2012)

【学会発表】

遠藤海, 宍戸道明, 渡部誠二(鶴岡高専), 飯塚博: 海水雰囲気下における靱殻焼成材の摩擦摺動特性, 電気関係学会平成23年度北陸地区学生による研究発表会講演論文集, D43, (2012)

【各種補助金・助成金による研究】

渡部誠二, 宝賀剛, 小野寺良二: 研究推進援助費, 複数の出身学科で構成するグループによるものづくり教育の取り組み, 150千円 (平成23年度)

【受託研究】

渡部誠二: 技術振興会の研究助成, 音響信号処理による回転機器の状態診断に関する研究, 250千円 (平成23年度)

柳本憲作

【論文】

Kensaku YANAGIMOTO, Seiji WATANABE, Masayuki TAKAHASHI, Shuichi SAKAMOTO: Sound Quality for Micro Axial Fan with Blade Run-Out, Journal of Environment and Engineering, Vol.7, No.1, pp.1 - 11(2012)

【論文】

Shuichi SAKAMOTO, Yosuke SAKUMA, Kensaku YANAGIMOTO, Seiji WATANABE: Basic Study for the Acoustic Characteristics of Granular Material (Normal Incidence Absorption Coefficient for Multilayer with Different Grain Diameters), Journal of Environment and Engineering, Vol.7, No.1, pp.12 - 22(2012)

【学会発表】

菅原裕嗣, 柳本憲作: ファジィ理論を用いたファン異常音の識別, 平成24年度東北地区若手研究者研究発表会演論文集, 73-74, (2012)

【学会発表】

木村英人, 柳本憲作, 渡部誠二, 高橋政行, 五十嵐正晃: 揺動機構を用いた小型ファンの振動計測, 日本機械学会 [No.12-12] Dynamics and Design Conference 2012 講演論文集, No.519, (2012)

【学会発表】

山宮弘毅, 坂本秀一, 藤橋貴史, 柳本憲作, 渡部誠二: バイオマスの細管等を応用した吸音材料に関する研究 (斜めに配置した細管による幾何学的厚さの削減効果の検証), 日本機械学会北陸信越支部第49期総会・講演会, 日本機械学会, 金沢工大(2012)

【学会発表】

宮入徹, 坂本秀一, 立座誠也, 柳本憲作, 渡部誠二: 自然換気用消音器の減音特性に関する研究 (透過損失と挿入損失による評価), 日本機械学会北陸信越支部第49期総会・講演会, 日本機械学会, 金沢工大(2012)

【学会発表】

星野陽, 坂本秀一, 須藤浩太, 柳本憲作, 渡部誠二: 細管構造を持つ吸音材の吸音率の測定および理論解析 (境界層内における伝搬定数), 日本機械学会北陸信越支部第49期総会・講演会, 日本機械学会, 金沢工大(2012)

【共同研究】

柳本憲作, 高橋政行 (オリエンタルモーター (株)): 冷却ファンの寿命試験における定性・定量化の研究, 250千円, (平成24年6月~平成25年3月)

【共同研究】

柳本憲作, 高橋政行 (オリエンタルモーター (株)): 熱流体における実験と解析の比較研究, 250千円, (平成24年6月~平成25年3月)

阿部達雄

【国際学会発表】

Tatsuo Abe, Hiroshi Gandou, Hiroyuki Yoshiki: Effect of cold plasma treatment on water and its evaluation by using *Daphnia magna*. Society of Environmental Toxicology and Chemistry (SETAC) North America's 33rd Annual Meeting, 289 (2012)

【国際学会発表】

Shun Takahashi, Takeru Sugawara, Tatsuo Abe: *Daphnia magna* immobilization assay application to toxicity of metal ions (Cesium). Society of Environmental Toxicology and Chemistry (SETAC) North America's 33rd Annual Meeting, 284 (2012)

【学会発表】

菅原武, 高橋峻, 阿部達雄: オオオミジンコに対する無機化合物の影響(塩化セシウムの生態影響) 第15回化学工学会学生発表会(米沢大会) 講演要旨集, 61 (2013)

【学会発表】

本間康弘, 阿部達雄, 小谷卓: 山形県鶴岡市内の酸性雨の分析と比較 第15回化学工学会学生発表会(米沢大会) 講演要旨集, 70 (2013)

【共同研究】

竹下健二, 中野義夫, 森敦紀, 丸山俊夫, 小谷卓, 栗野幸雄, 木倉宏成, 矢野哲司, 鈴木達也, 阿部達雄, 稲葉優介, 尾形剛志, 緒明博, 阿部光雄, 松本史朗: 東京工業大学 統合研究院 原子燃料サイクルプロジェクト (役割分担: ガラスメルトター運転用物質輸送モデルと前処理(白金族回収)技術の開発), 3,000千円, (2009~2012年度)

飯島政雄

【学会発表】

後藤駿介, 井上祥宏, 佐藤優樹, 飯島政雄: シクロデキストリンを導入した絹タンパク質の包接挙動, 平成24年度専攻科産学連携シンポジウム講演論文集, 218-219, (2012)

【学会発表】

井上祥宏, 佐藤優樹, 後藤駿介, 飯島政雄: カルボン酸修飾シクロデキストリンの合成とその包接挙動, 平成24年度化学系学協会東北大会講演予稿集, 172, (2012)

【各種補助金・助成金による研究】

飯島政雄: 東北6高専モノ造り教育研究コンペティション助成, 仙台高専, 「絹タンパク質と合成ポリマーからなる複合材料の作製」, 1000千円, (2011-12年度)

【共同研究】

佐藤貴哉, 飯島政雄, 佐藤 司: スパイバー(株), 「人工フィブロイン繊維の応用技術の開発及び評価研究」, 630千円, (2012.5-2013.3)

佐藤貴哉

【論文】

Lubrication mechanism of concentrated polymer brushes in solvents: Effect of solvent viscosity, A. Nomura, K. Ohno, T. Fukuda, T. Sato, Y. Tsujii, *Polym. Chem.*, 3, 148-153 (2012)

【論文】

土佐正弘, 辻井敬亘, 佐藤貴哉: グリーントライボロジーにおける新素材・材料創製と応用, 月刊トライボロジー, vol.5, 1-3 (2012)

【論文】

Ryosuke Taniki, Kazuhiko Matsumoto, Rika Hagiwara, Kan Hachiya, Takashi Morinaga, and Takaya Sato: Highly Conductive Plastic Crystals Based on Fluorohydrogenate Anions, *The Journal of Physical Chemistry B*, 117, 955-960, (2013)

【学会発表】

仲西幸二, 八幡芳和, 森永隆志, 佐藤貴哉, 大野工司, 辻井敬亘, 山子茂: 有機テルル化合物を用いたリビングラジカル重合(TERP)によるメタクリレートの重合におけるイオン液体の効果, 高分子学会年次大会, 3E12, (2012/5/31)

【学会発表】

本間彩夏, 森永隆志, 佐藤貴哉, 大野工司, 辻井敬亘: プロトン伝導性イオン液体を用いた新規固体高分子形燃料電池の開発, 高分子学会年次大会, 1Pd080 (2012/5/29)

【学会発表】

老田紀子, 中西洋平, 大野工司, 佐藤貴哉, 辻井敬亘: 機能性ブロック共重合体/イオン液体ブレンドによる高次構造制御と固体電解質への応用, 平成24年度繊維学会年次大会, 3F01(2012/6/8タワーホール船堀)

【学会発表】

中西洋平, 川野佑子, 大野工司, 辻井敬亘, 森永隆志, 佐藤貴哉, 佐川尚, 吉川暹: ポリマーブラシ付与複合微粒子積層膜を用いた色素増感太陽電池の開発, 平成24

年度繊維学会年次大会, 2C05,(2012/6/6タワーホール船堀)

【学会発表】

阿部早紀, 丸金祥子, 森永隆志, 佐藤貴哉: 高容量キャパシタ用の新規多価電解質塩の合成とその評価, 平成24年度第43回繊維学会夏季セミナー, P50, (2012/8/9 奈良県新公会堂)

【学会発表】

森永隆志, 本間彩夏, 佐藤貴哉, 大野工司, 辻井敬亘: 機能性イオン液体によるPEFC用電解質膜の新規設計, 平成24年度第43回繊維学会夏季セミナー, P34 (2012/8/9 奈良県新公会堂)

【学会発表】

中西洋平, 川野佑子, 大野工司, 森永隆志, 佐藤貴哉, 佐川尚, 吉川暹, 辻井敬亘: 濃厚ポリマーブラシ効果を利用した全固体型色素増感太陽電池の開発, 平成24年度第43回繊維学会夏季セミナー, P23 (2012/8/9 奈良県新公会堂)

【学会発表】

松本一彦, 谷木良輔, 蜂谷寛, 萩原理加, 森永隆志, 佐藤貴哉, 松本一彦: アニオン伝導性フルオロハイドロジェネート柔軟性イオン結晶の構造と導電機構, 電気化学会第80回大会, 1L11, (2012/3/19 東北大学川内キャンパス)

【学術講演・成果報告会】

佐藤貴哉: ナノブラシとイオン液体の複合化, 文部科学省GRENE事業先進環境材料分野グリーントライボロジーネットワーク冬の学校, P21, 東北大学片平さくらホール(2012/1/18).

【学術講演・成果報告会】

佐藤貴哉: イオン液体とポリマーブラシの複合による固体薄膜二次電池の開発と展望, サイエンステクノロジー社主催セミナー「全固体二次電池の開発と小型デバイス用途への展開」第2部, 東京大田区平和島東京流通センター2F 第5会議室 (2012/11/16).

【学術講演・成果報告会】

佐藤貴哉: 複合微粒子積層型固体電解質を用いたリチウムイオン電池の開発, 科学技術振興機構一戦略的創造研究推進事業(CREST) 戦略目標「プロセスインテグレーションによる次世代ナノシステムの創製」三研究領域合同会議, 科学技術振興機構東京本部, P36 (2012/10/5)

【特許(権利確定したもの)】

辻井敬亘, 大野工司, 福田猛, 佐藤貴哉: 特許5093656, イオン液体ポリマー複合微粒子を用いた高分子固体電解質, 国立大学法人京都大学, 独立行政法人国立高等専門学校機構(登録日2012/9/28)

【特許(権利確定したもの)】

佐藤貴哉, 増田現, 野津龍太郎, 圓尾龍哉: 特許5083577, 蓄電デバイス用電解液および電気二重層キャパシタ, 日清紡ホールディングス株式会社(登録日2012/9/14)

【特許(権利確定したもの)】

佐藤貴哉, 青木康次: 特許5067728, ポリマー電解質及びその製造方法, 独立行政法人国立高等専門学校機構(登録日2012/8/24)

【特許(権利確定したもの)】

山崎 哲, 佐藤 貴哉, 山南 隆徳, 小林 誠幸, 土田 真也 : 特許5038751, 電極板製造用塗工液, アンダーコート剤およびその使用, 協立化学産業株式会社, 大日精化工業株式会社 (登録日2012/7/13)

【特許 (権利確定したもの)】

佐藤 貴哉, 上原 孜, 小谷 美嗣 : 特許5025857, 分離膜モジュールの洗浄用ゲル粒子, 製法及び洗浄方法, 日清紡ホールディング株式会社 (登録日2012/6/29)

【特許出願】

石塚紀生, 辻井敬亘, 佐藤貴哉 : 特願2012-077336, 多孔質膜, 電解質, 二次電池および燃料電池, 株式会社エマオス京都, 独立行政法人国立高等専門学校機構 (出願日2012/3/29)

【特許出願】

安宅元晴, 加納正史, 辻井敬亘, 石塚紀生, 佐藤貴哉 : 特願2012-078234, 多孔質膜の製造方法, 多孔質膜, 電解質膜, 二次電池および燃料電池, 積水化学工業株式会社, 国立大学法人京都大学, 株式会社エマオス京都, 独立行政法人国立高等専門学校機構 (出願日2012/3/29)

【特許出願】

菱川靖浩, 小島正章, 森永隆志, 佐藤貴哉 : 特願2012-84290, ゴムまたはプラスチック補強材およびその製造方法, 並びにゴム組成物及びプラスチック組成物, 東洋ゴム工業株式会社, 独立行政法人国立高等専門学校機構 (出願日2012/4/2)

【特許出願】

菱川靖浩, 小島正章, 森永隆志, 佐藤貴哉 : 特願2012-84289, ケイ素化合物およびその製造方法, 並びにその利用, 東洋ゴム工業株式会社, 独立行政法人国立高等専門学校機構 (出願日2012/4/2)

【特許出願】

坂西裕一, 佐藤貴哉 : 特願2012-1871, ポリグリシドール誘導体およびポリグリシドール誘導体含有固体電解質組成物, 株式会社ダイセル, 独立行政法人国立高等専門学校機構 (出願日2012/1/10)

【特許出願】

坂西裕一, 佐藤貴哉 : 特願2012-1872, ポリグリシドール誘導体およびポリグリシドール誘導体含有固体電解質組成物, 株式会社ダイセル, 独立行政法人国立高等専門学校機構 (出願日2012/1/10)

【国際学会等での発表】

Smart coatings for a safety and high voltage energy storage devices. T. Sato, Smart Coatings 2012, February 22-24, Orlando, Florida, USA, Hilton Garden Inn, conference room (2012/2/22).

【国際学会等での発表】

Fabrication of protoic solid-state polymer electrolyte of colloidal crystal decorated with ionic liquid polymer brush. Takashi MORINAGA, Saika HONMA, Takaya SATO, Kohji OHNO, Yoshinobu TSUJII, S5P16-17, International Association of colloid and interface scientists, Conference, IACIS2012, May 13-18, 2012, Sendai International Center, Sendai, Japan (2012/5/16).

【国際学会等での発表】

Development of all-solid dye-sensitized solar cell using

self-assembled nanoparticles with high-density, concentrated polymer brushes, Yohei NAKANISHI, Yuko KAWANO, Kohji OHNO, Takashi MORINAGA, Takaya SATO, Takashi SAGAWA, Susumu YOSHIKAWA, Yoshinobu TSUJII, S5P16-08, International Association of colloid and interface scientists, Conference, IACIS2012, May 13-18, 2012, Sendai International Center, Sendai, Japan (2012/5/16).

【国際学会等での発表】

A Non-humidified Fuel Cell Using Fluorohydrogenate Ionic Liquid-Polymer Composite Membrane Prepared by Living Radical Polymerization, P. Kiatkittikul, J. Yamaguchi, T. Nohira, R. Hagiwara, Y. Tsujii, and T. Sato, # 1515, Pacific Rim Meeting on electrochemical and Solid-State Science, B9 - Polymer Electrolyte Fuel Cells 12 (PEFC 12) in Honolulu 2, Tapa Conference Center, Hilton Hawaiian Village (2012/10/10).

【国際学会等での発表】

Novel Solid Polymer Electrolyte for High Voltage Energy Storage Devices, Takaya Sato, Takashi Morinaga, Shoko Marukane, Kohji Ohno and Yoshinobu Tsujii, Vth International Conference on Molecular Materials. MOLMAT 2012 - Barcelona, July 3-6, 2012, AXA Auditorium, PO-018 (2012/07/03).

【国際学会等での発表】

Novel Protoic Solid-State Polymer Electrolyte of Colloidal Crystal Decorated with ionic Liquid polymer Brush, Takaya Sato, Takashi Morinaga, Shoko Marukane, Kohji Ohno and Yoshinobu Tsujii, 9th International Symposium Polyelectrolyte 2012 (ISP 2012), Ecole Polytechnique Federale De Lausanne (EPFL), P8-8 (2012/07/10).

【国際学会発表】

Takashi Morinaga, Saika Honma, Takaya Sato, Kohji Ohno, Yoshinobu Tsujii : Development of a Novel Polymer Electrolyte for Fuel Cell using Silica Particles Grafted with Concentrated Ionic-Liquid Polymer Brush, A2-O27-016, IUMRS-International Conference on Electronic Materials, IUMRS-ICEM 2012, September 23-28, 2012, Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan, (2012/9/27)

【国際学会発表】

Takashi Morinaga, Saika Honma, Takaya Sato, Kohji Ohno, Yoshinobu Tsujii : Fabrication of Protoic Solid-State Polymer Electrolyte using Silica Particles Grafted with Ionic Liquid Polymer Brush, 6E-IL-2, 1st International Conference on Emerging Advanced Nanomaterials, ICEAN-2012, October 22-25, 2012, Royal On the Park Hotel, Brisbane, Australia, (2012/10/24)

【国際学会等での発表】

Capacitor performances of newly designed multiple-ammonium type electrolytes, S. Abe, S. Sato, T. Morinaga, T. Sato, The Second international Symposium on Technology for Sustainability (ISTS2012), Session TB5: Nano-technology (I) No.2, The Swissotel Le Concorde, Bangkok, Thailand (2012/11/22).

【国際学会等での発表】

Novel solid polymer electrolyte for high voltage lithium ion cell, Takaya Sato The 5th GREEN Symposium, NIMS, Namiki Site (2012/12/17).

【科学研究費補助金】

佐藤貴哉（研究代表）：文部科学省/日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究（C）「電池の高電圧化を可能にする微粒子集積ポリマー電解質」2010-2012年度.

【受託研究】

佐藤貴哉（主たる共同研究者）：独立行政法人科学技術振興機構(JST) 戦略的創造研究推進事業(CREST)「研究領域:プロセスインテグレーションによる機能発現ナノシステムの創製 / 濃厚ポリマーブラシの階層化による新規ナノシステムの創製」2009-2014年度

【受託研究】

佐藤貴哉（主たる共同研究者）：文部科学省平成23年度大学発グリーンイノベーション創出事業, 先進環境材料分野「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス(GRENE)」事業（分担）2011-2015年度

【受託研究】

佐藤貴哉（主たる共同研究者）：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「平成24年度「新エネルギーベンチャー技術革新事業/ポリマーモノリスの構造制御による高信頼性リチウムイオン電解質膜の開発」

【受託研究】

佐藤貴哉（主たる共同研究者）：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「平成24年度「リチウムイオン電池応用・実用化先端技術開発事業/高容量・低コスト酸化物正極を用いた高エネルギー密度リチウムイオン電池の研究開発

【受託研究】

佐藤貴哉（招聘グループリーダー）：文部科学省ナノテクノロジーを利用した環境技術開発プログラムナノ材料科学環境拠点(GREEN) @独立行政法人物質・材料研究機構電池分野革新的高分子電解質設計グループ, 2012年度～

【共同研究】

佐藤貴哉, ヒューマンメタボロームテクノロジー株式会社:「メタボロミクス未知物質の探索に関する研究」, 2011年8月1日～2012年3月31日

【共同研究】

森永隆志, 佐藤貴哉, 東洋ゴム工業株式会社:「表面開始リビングラジカル重合のゴム用配合剤への応用研究-3-」, 2012年4月～2013年3月

【共同研究】

佐藤貴哉, 飯島政雄, 佐藤司, スパイバー株式会社:「人工フィブロイン繊維の応用技術の開発および評価研究」, 2012年度

【共同研究】

佐藤貴哉, ヒューマンメタボロームテクノロジー株式会社:「メタボロミクス物質ライブラリーの拡大と新しいバイオマーカーの探索のためのターゲット分子の合成に関する研究」, 2012年度

【共同研究】

佐藤貴哉, 長岡技術科学大学:「新規ガラスセラミッ

クス正極を用いたナトリウムイオン電池の開発」, 2012年度

【奨学寄附金】

電気化学工業株式会社, 「物質工学科有機機能材料研究室研究助成」2012年度

【教育関係】

佐藤貴哉:独立行政法人国立高等専門学校機構平成23年度「企業技術者等活用プログラム」/「グリーンプログラクツ開発を通じた技術者教育」, 2012年度

佐藤 司**【著書】**

宍戸道明, 佐藤司, 飯塚博:農業系パイプロダクトを活用した多孔質炭素材料の創成とその応用, 環境技術, 40, 650-653, (2011)

【研究ノート】

佐藤司, 小谷卓:飛島における流木炭化の実証実験, 鶴岡工業高等専門学校研究紀要, 46, 79-82, (2012)

【学会発表】

M. Shishido, K. Endo, W. Endo, T. Sato T. Takahashi and H. Iizuka: Seawater Resistance of Porous Carbon Materials made from Rice Hull (籾殻焼成多孔質炭素材料の耐海水特性), 第21回日本MR S学術シンポジウムプログラム (CD-ROM, ABS-N23), (2011)

【学会発表】

M. Shishido, A. Kudo, W. Endo, T. Sato, H. Akiyama, T. Takahashi and H. Iizuka: Effects of Cultivation Environment on Porous Carbon Materials made from Rice Hull, (籾殻採取地による籾殻焼成多孔質炭素材料への影響), 第21回日本MR S学術シンポジウムプログラム (CD-ROM, ABS-N24), (2011)

【学会発表】

高橋翔太, 平田匠, 佐藤司, 宍戸道明:漂着漁網と籾殻を原料とした複合材料の製造と力学的性質, 第17回高専シンポジウムin熊本講演要旨集, 194, (2012)

【共同研究】

佐藤司, 竹中克彦:長岡技術科学大学学長裁量経費「高専一長岡技科大連携教育研究の推進」, マイクロバブル技術導入によるラジカル重合の脱開始剤プロセスの開発, 300千円, (2011年度)

【共同研究】

飯島政雄, 佐藤貴哉, 佐藤司, スパイバー株式会社:人工フィブロイン繊維の応用技術の開発及び評価研究, 630千円, (2012年度)

【受託研究】

佐藤司, 小谷卓:庄内総合支庁, 流木・漁網等の回収・処理に関する調査研究, 4000千円, (2011年度)

【受託研究】

佐藤司:地域企業と教育機関が参加する高専テクノセンター研究活動への支援, 絹たんぱく質を利用した水浄化材の開発, 鶴岡高専技術振興会助成事業, 250千円, (2011年度)

【寄付金】

佐藤司:マエタテクノロジーリサーチファンド, 木質系廃棄物の炭化処理と利用に関する研究, 900千円,

(2011年度)

【寄付金】

佐藤司：マエタテクノロジーリサーチファンド，木質系廃棄物の炭化処理と利用に関する研究，900千円，(2012年度)

瀬川 透

【受託研究】

瀬川透：鶴岡工業高等専門学校技術振興会受託研究，「地域の科学ボランティアの養成とスライムマイスター講座の開催」，(2012年度)

戸嶋 茂 郎

【論文】

戸嶋茂郎，高橋文昭：呼吸量計測によるウシ受精卵超急速ガラス化凍結法の評価，表面技術，63，454-455，(2012)

【論文】

戸嶋茂郎，小関美耶，結城克則，高橋文昭：ウシ体外胚の各発生ステージまで要した日数と呼吸活性との関係，鶴岡工業高等専門学校研究紀要，46，75-78，(2012)

【学会発表】

石川雅俊，戸嶋茂郎：Ni-Pd-P電析膜の作製とその性質，平成24年度化学系学協会東北大会講演予稿集，143(2012)

平尾 彰 子

【論文】

Hirao A, Tahara Y, Kimura I, Shibata S, A balanced diet is necessary for proper entrainment signals of the mouse liver clock., PLoS One. 4:e6909,(2009)

【論文】

Hirao A, Nagahama H, Tsuboi T, Hirao M, Tahara Y, and Shibata S, Combination of starvation interval and food volume determines the phase of liver circadian rhythm in Per2::Luc knock-in mice under two meals per day feeding., Am J. Physiology 299(5):G1045-53,(2010)

【論文】

Tahara Y, Hirao A, Moriya T, Kudo T, Shibata S., Effects of medial hypothalamic lesions on feeding-induced entrainment of locomotor activity and liver Per2 expression in Per2::luc mice., J Biol Rhythms. 25:9-18,(2010)

【論文】

Tahara Y, Otsuka M, Fuse Y, Akiko H, Shibata S., Refeeding after fasting elicits insulin-dependent regulation of Per2 and Rev-erb α with shifts in the liver clock., J Biol Rhythms. 26(3):230-40. ,(2011)

【論文】

Okamoto M, Irii H, Tahara Y, Ishii H, Hirao A, Udagawa H, Hiramoto M, Yasuda K, Takanishi A, Shibata S, Shimizu I., Synthesis of a new [6]-gingerol analogue and its protective effect with respect to the development of metabolic syndrome in mice fed a high-fat diet., J Med Chem. 22;54(18):6295-304,(2011)

【論文】

Hirao A, Furutani N, Nagahama H, Itokawa M, and Shibata S, The protective and recovery effects of fish oil supplementation on cedar pollen-induced allergic reactions in mice, Food and Nutrition Sciences (FNS),13;1, 40-47 ,(2012)

【論文】

Takita E, Yokota S, Tahara Y, Hirao A, Aoki N, Nakamura Y, Nakao A, Shibata S., Biological clock dysfunction exacerbates contact hypersensitivity in mice., Br J Dermatol. 1365-2133,(2012)

【論文】

Kubo Y, Tahara Y, Hirao A, Shibata S., 2,2,2-tribromoethanol phase-shifts the circadian rhythm of the liver clock in per2::luciferase knockin mice: lack of dependence on anesthetic activity., J Pharmacol Exp Ther.340(3):698-705 ,(2012)

【論文】

Fuse Y, Hirao A, Kuroda H, Otsuka M, Tahara Y, Shibata S., Differential roles of breakfast only (one meal per day) and a bigger breakfast with a small dinner (two meals per day) in mice fed a high-fat diet with regard to induced obesity and lipid metabolism, J Circadian Rhythms May 15;10(1):4 ,(2012)

【論文】

Tahara Y, Kuroda H, Saito K, Nakajima Y, Kubo Y, Ohnishi N, Seo Y, Otsuka M, Fuse Y, Ohura Y, Komatsu T, Moriya Y, Okada S, Furutani N, Hirao A, Horikawa K, Kudo T, Shibata S., In Vivo monitoring of peripheral circadian clocks in the mouse., Curr Biol. Jun 5;22(11):1029-34. ,(2012)

【総説】

Shibata S, Tahara Y, Hirao A., The adjustment and manipulation of biological rhythms by light, nutrition, and abused drugs., Adv Drug Deliv Rev. review,(2009)

【総説】

Shibata S, Hirao A, Tahara Y., Restricted feeding-induced entrainment of activity rhythm and peripheral clock rhythm, Sleep and Biological Rhythms 8, 18-27. review,(2010)

【総説】

Shibata S, Hirao A., Basic and applied science of chrononutrition., Nihon Yakurigaku Zasshi. 137(3):110-4. Review. ,(2011)

【総説】

平尾彰子，柴田重信，：時間栄養学，特集;時間薬理学～最適な投与方法を求めて～，医薬ジャーナル，医薬ジャーナル社，(2009)

【総説】

平尾彰子，柴田重信，：時計遺伝子と栄養，脳2 1,金芳堂,VOL13-4,(2010)

【総説】

柴田重信，平尾彰子：「時間栄養学とはなにか」日本薬理学雑誌，金芳堂，137,109-114,(2011)

【総説】

平尾彰子，柴田重信：「体内時計を用いた理想的な食生活作りのために」，顕微鏡第47巻第2号，83-86,(2012)

【総説】

平尾彰子：「健康」とは何か，杉田玄白賞記念冊子，小浜市教育委員会文化課，(2012)

【総説】

平尾彰子：～マウス・給餌性同調機構～給餌の時間・量が体内時計に影響，Medical Tribune本紙，Medical Tribune，(2012)

【総説】

柴田重信，平尾彰子：時間栄養学，特集「栄養療法に対する認識と期待」，学術誌『栄養一評価と治療』，29-3,(2012)

【著書】

平尾彰子，柴田重信：「体内時計の科学と産業応用」第3編食品：第10章食品の体内時計に対する効果（共著），第11章体内時計が栄養・食物摂取に及ぼす効果（単著），シーエムシー出版，(2011)

【著書】

平尾彰子：「かにかくに」，時間栄養学の視点から体内時計を考える（単著），御食国倶楽部，(2012)

【学術講演(招待)】

Akiko Hirao, Breakfast is important for circadian rhythms ? ,Auturm Seminar for Introduction of Research Collaborations ,ZAO(Yamagata) ,(2012)

【学術講演(招待)】

平尾彰子，柴田重信：給餌によるマウス肝臓時計遺伝子発現リズムの影響，早稲田大学TWINS（東京），(2009)

【学術講演(招待)】

平尾彰子，柴田重信：マウス体内時計と食・栄養の相互作用，第17回日本時間生物学会学術大会，早稲田大学国際会議場（東京），(2009)

【学術講演(招待)】

平尾彰子：体内時計のも誰を改善して理想的な生活を手に入れよう，鶴岡高専地域共同テクノセンター・鶴岡技術振興会主催市民サロン第一講，庄内産業振興センター（山形），(2012)

【学術講演(招待)】

平尾彰子：時間栄養学の視点からより良いライフスタイルを考える，日本睡眠学会第37回定期学術集会，パシフィコ横浜（神奈川），(2012)

【学会発表(口頭)】

Hirao A, 「Food-induced entrainment of mouse circadian liver clock: effect of feeding volume and feeding time」, 『Shanghai Jiao Tong University-Waseda University Joint Symposium 2009』, 36, Shanghai, China, (2008)

【学会発表(口頭)】

三浦伸彦，大谷勝己，柳場由絵，長谷川達也，外川雅子，平尾彰子，柴田重信：体内時計の生理学的意味を他の研究分野から問う：毒性学の立場から-体内時計と重金属毒性-，第89回日本生理学会シンポジウム，J Physiol Sci, Vol.62, No.1: 1S7H-3, pp.S19,(2012)

【学会発表(口頭)】

平尾彰子，糸川美紗，長浜敬樹，大津定治，池田祐子，柴田重信：「魚油がマウス体内時計位相変動に与える新規パスウェイの構築」『第66回日本栄養・食糧学会大会』，2F-03a，東北大学（仙台），(2012)

【学会発表(口頭)】

今西拓麻，岡本真由美，田原優，平尾彰子，大津定治，清水功雄，柴田重信：「マウスやMEF細胞の体内時計周期に対する[6]-ジングロールの作用」，『第66回日本栄養・食糧学会大会』，2F-04a，東北大学（仙台），(2012)

【学会発表(口頭)】

霜田愛美，田原優，青木菜摘，平尾彰子，柴田重信：「マウスの肝臓脂肪蓄積に対する低アミノ酸食と朝食・夕食の摂取時刻の効果」，『第66回日本栄養・食糧学会大会』，2I-13p，東北大学（仙台），(2012)

【学会発表(口頭)】

大津定治，池田祐子，青木菜摘，大久保理沙，平尾彰子，柴田重信：「理想的な一週間の生活リズムの探求—マウスの体重及び摂食量による評価—」，『第66回日本栄養・食糧学会大会』，2N-16p，東北大学（仙台），(2012)

【学会発表(口頭)】

青木菜摘，浜口雄太郎，平尾彰子，柴田重信：「Clock変異マウスが食塩の嗜好性と含塩食物摂取が代謝機能に及ぼす影響」，『第66回日本栄養・食糧学会大会』，2O-15p，東北大学（仙台），(2012)

【学会発表(ポスター)】

Hirao A, Tahara Y, Kimura I, Shibata S, 「Balanced nutrient foods with high glycemic index but not sugar alone is suitable entraining signals of mouse liver clock」 『XI. Congress of the European Biological Rhythms Society』, Strasbourg, France, (2009)

【学会発表(ポスター)】

Hirao A, Tahara Y, Nagahama H, Shibata S, 「Mouse liver clock is entrained by restricted food with balanced nutrition」, 『International Symposium on Biological Rhythm』, Sapporo, Japan, (2009)

【学会発表(ポスター)】

Tahara Y, Hirao A, Moriya T, Kudo T, Shibata S, 「Light-induced but not feeding-induced entrainment of liver circadian rhythm in dorsomedial hypothalamus (DMH) lesioned mice」 『International Symposium on Biological Rhythm』, Sapporo, Japan, (2009)

【学会発表(ポスター)】

Hirao A, Nagahama H, Shimoda M, Itokawa M, Tahara Y, Shibata S, 「Fish oil affects clock gene and clock-controlled metabolism-related gene expression in the mouse liver」, 『the 16th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology』, Copenhagen, Denmark, (2010)

【学会発表(ポスター)】

Hirao A, Furutani N, Nagahama H, Itokawa M, Imanishi T, Ohtsu T, Tahara Y, Shibata S, 「About the relation nature of the day-and-night difference of a blood glucose level and insulin rise of a mouse」 『III World Congress of Chronobiology』, Puebla, México, (2011)

【学会発表(ポスター)】

Tahara Y, Ohtsuka M, Fuse Y, Hirao A, Shibata S, 「Refrding After Fasting Elicits Insulin-dependent Regulation Of Per2 and Reverba with Shifts in liver clock」, 『III World Congress of Chronobiology』, Puebla, México, (2011)

【学会発表(ポスター)】

平尾彰子, 長浜敬樹, 糸川未紗, 大津定治, 田原優, 柴田重信: 『魚油がマウス肝臓体内時計位相後退作用に及ぼすメカニズムの解明』, 『第18回日本時間生物学会学術大会』, P056, 名古屋大学(名古屋), (2011)

【学会発表(ポスター)】

大津定治, 大久保理沙, 糸川未紗, 今西拓麻, 平尾彰子, 柴田重信: 『リモネンとレモン果汁の同時摂取による時計遺伝子発現量への影響』, 『第18回日本時間生物学会学術大会』, P057, 名古屋大学(名古屋), (2011)

【学会発表(ポスター)】

大久保理沙, 大津定治, 今西拓麻, 平尾彰子, 柴田重信: 『リモネンやリナロールの匂い刺激がマウスの時計遺伝子発現に及ぼす影響』, 『第18回日本時間生物学会学術大会』, P058, 名古屋大学(名古屋), (2011)

【学会発表(ポスター)】

平尾彰子, 糸川未紗, 大津定治, 池田祐子, 青木菜摘, 柴田重信: 『魚油摂取時のマウス肝臓の位相後退作用においてGPR120を介した新しい経路の確立』 『第19回日本時間生物学会学術大会』, P073, 北海道大学(札幌), (2012)

【学会発表(ポスター)】

平尾彰子, 柴田かほり, 鈴木裕太, 大津定治, 池田祐子, 柴田重信: 『漬物がマウス肝臓体内時計遺伝子に与える影響』, 『第19回日本時間生物学会学術大会』, P074, 北海道大学(札幌), (2012)

【学会発表(ポスター)】

池田祐子, 大津定治, 栗城大輔, 平尾彰子, 柴田重信: 『GPR120遺伝子発現リズムとインスリン分泌に魚油が及ぼす影響』 『第19回日本時間生物学会学術大会』, P072, 北海道大学(札幌), (2012)

【学会発表(ポスター)】

大津定治, 池田祐子, 栗城大輔, 平尾彰子, 柴田重信: 『1週間リズム(Infradian rhythm)での光運動, 高脂肪食によるマウスの体重に与える影響』, 『第19回日本時間生物学会学術大会』, P075, 北海道大学(札幌), (2012)

【学会発表(ポスター)】

田辺花奈, 成重青等, 瀬尾泰裕, 平尾彰子, 柴田重信: 『食物アレルギー摂取タイミングの違いがアレルギー症状に及ぼす影響』, 『第19回日本時間生物学会学術大会』, P076, 北海道大学(札幌), (2012)

【受託研究】

平尾彰子: 帯谷食品株式会社, 「漬物が及ぼす体内時計への影響」, (2012年度)

【科学研究費補助金】

平尾彰子: 日本学術振興会特別研究奨励費, 「マウスを用いた体内時計と食・栄養との相互関係の解明」, 700千円/year, (2010-2012年度)

三上貴司

【論文】

Takashi Mikami, Takatoshi Nagahori, Jin Saito and Izumi Hirasawa: Single jet precipitation of silver nanocrystals in the presence of poly(acrylic) acid, *Chemical Engineering & Technology*, 35, 700-704, (2012)

【論文】

Takashi Mikami, Yuta Takayasu, Junpei Watanabe and Izumi Hirasawa: Influence of polyethylenimine addition on crystal size distribution of Au nanocrystals, *Chemical Engineering & Technology*, 34, 583-586, (2011)

【解説】

三上貴司: 単分散微結晶の反応晶析技術, 鶴岡工業高等専門学校紀要, 46, 83-88, (2012)

【学会発表】

Daiki Ishikawa, Yasuhiro Ito and Takashi Mikami: Batch crystallization of aspirin to obtain monodisperse pharmaceutical crystals, 19th International Workshop on Industrial Crystallization, Tianjin, China, (2012)

【学会発表】

Takashi Mikami and Izumi Hirasawa: Strategy to obtain monodisperse nano/micro crystals via polyelectrolyte-assisted reactive crystallization, The First Asian Crystallization Technology Symposium, Seoul, South Korea, (2012)

【学会発表】

鈴木鍊, 太田優輝, 三上貴司: カリミョウバンの滴下冷却晶析における滴下流量の影響, 化学工学会第44回秋季大会, 仙台, (2012)

【学会発表】

小関恭史, 小久保真悟, 三上貴司: リチウム塩湖擬似かん水からの炭酸リチウム晶析, 化学工学会第44回秋季大会, 仙台, (2012)

【学会発表】

石川大樹, 伊藤康広, 三上貴司: アスピリン単分散結晶の回分冷却晶析における過飽和度の影響, 化学工学会第44回秋季大会, 仙台, (2012)

【学会発表】

Takashi Mikami and Izumi Hirasawa: Kinetic Study on PEI-assisted Reactive Crystallization of Monodisperse Strontium Sulfate Microcrystals, 18th International Symposium on Industrial Crystallization, Zurich, Switzerland, (2011)

【学術講演】

三上貴司: 単分散微結晶の反応晶析技術, 平成24年度山形化学工学懇話会技術講演会, 米沢, (2012)

【学術講演】

三上貴司: 晶析工学を基軸とした資源循環型無機排水処理プロセスの開発, 鶴岡高専・山大工学部・山大農学部連携による情報交換会「21世紀の環境科学」, 鶴岡, (2011)

【共同研究】

三上貴司: 長岡技術科学大学学長戦略的経費による研究助成, 水, 食料・バイオマス, 資源に関する次世代技術開発を通じた教育連携・拠点形成(分担), 800千円, (2012年度)

【受託研究】

三上貴司: 鶴岡高専技術振興会助成研究「地域企業と教育機関が参加する高専テクノセンター研究活動への支援」, 医薬品原薬の単分散化に関する工業晶析研究, 250千円, (2012年度)

【助成研究】

三上貴司：公益財団法人 畠山文化財団，晶析工学を基軸とした資源循環型無機排水処理プロセスの開発（代表），500千円，（2012年度）

【助成研究】

三上貴司：インテリジェント・コスモス学術振興財団，晶析工学を基軸にした高品位単分散結晶の創製（代表），200千円，（2012年度）

【助成研究】

三上貴司：ソルトサイエンス研究財団，海水中リチウム資源の高品位化回収に関する反応晶析研究（代表），950千円，（2012年度）

【助成研究】

三上貴司：ソルトサイエンス研究財団，海水中リチウム資源の高品位化回収に関する反応晶析研究（代表），950千円，（2012年度）

【助成研究】

三上貴司：鉄鋼環境基金，晶析工学を基軸とした資源循環型重金属イオン回収プロセスの開発（代表），1,000千円，（2011年度）

【受賞】

三上貴司：第11回インテリジェント・コスモス奨励賞，インテリジェント・コスモス学術振興財団，（2012年度）